

佐藤 先生

NO.1

ご無沙汰しております。

と申しましても、先月末に支援を卒業したばかり
なので、お電話でお話しはじめてから、また
1ヶ月も経っていないのであね。

支援開始からこの2年間。週に3回 毎回お電話で
内容の濃いご指導をいただいておりますので、
こんなに長い間お話しはじめて、また慣れません。

現在息子はしっかりと自分の足で立ち、自分の頭で
考え、高校生活を送っています。

担任の先生からも、多くの友人に囲まれ 教室で
日々笑顔が たくさんあふれて、リラックスして楽しんで
過ごしているようです。との連絡もいただき、
ほっとしているところです。

このような日々を迎えることか、できあのも、親に家庭
教育をお教え下さい、子に愛情を持って接して下さい
先生方のお陰です。

本当に ありがとうございます。

子どもは中学で私立中学に入学したのもつかの間、2週目に入るころから「行きたくない」と言い始め、最初は怒ったり、なだめたり、時にはカブクズヘッドから下ろし、着替えさせたししていましたか、おいて全く登校できなくなりました。

学校のカウンセラーの先生にも相談しましたが、こちらの話を聞いていたことで、気持ちにはなつたものの、最後には「待ちましよう」と言われ、暗闇の中をさまよっている気分でした。

そのうち、本人の意志により、10月から公立の中学に復学し、毎日登校していたので、私立の中学が合わなかっただけだ。と思いました。

しかし、中2の4月から又「行かない」と宣言をし、それからは毎日「楽しい不登校生活」が始まりました。それとともに、突然怒り出したし、高額のおこづかいを要求してきたし、他のきょうたいや、モリにやっ当たしをあるようにたふってきたので、事を荒立てたまいように、と気を使うようにたし、とんとん子上位とたふていきました。

その頃は「2度と学校と名のつくところへは行かない」「働かないで、この家に住みつく」「追い出されたら、ホームレスになる」等とっておりましたので、この先この子はどうなってしまうのだろうか。と再び暗闇の世界へ戻ってしまいました。「どうして?」と悩みました。家庭教育を学んだ今ならわかります。学校が変わっても、親が変わってはいなかったから。親の過保護・過干渉のせいで、年齢相応の自立ができていなかった。為、中学校という社会に対応できなかったのです。

そんな中、復学支援を受けた方のブログから、「ホップ・ステップ・ジャンプ」へと辿り着くことができました。初めての電話相談でじっくり話を聞いていただき、すぐに支援をお願いすることを決めました。週に3回、決まった曜日に支援の先生とお電話でのカウンセリングが始まりました。急ぎでどうしても。という時には、休日や、早朝、深夜にでも電話で対応を教えてくださいました。これか、と心もとない強かったことか。今でも頭が下がる思いです。

又、1-1に親子の会話を記入して郵送しますと、後日、良くない会話のところにバツ印とその理由を書き込んで返信してくれます。考えて発言しているつもりでも、冷静にあとから読み直してみると、親の意見を聞かなくてもいいのに、押しついたり、子の考えを否定ばかりしてことか^いわかります。1-1を読み直しいくと会話のワセに気づくようになり、発言する前に考え直し不要なことを言わなくなるようになりました。日々の積み重ねにより、親か^い変わり、子か^い変わっていきました。

「本当は学校に行きたいです」と子か^いはっきりと自分の意志を伝え、そして無事復学しました。復学後もたくさんの大いの問題か^い起こりましたか^い、1つあつ乗り越ええいくことにより、子か^い成長していくのを感じるこ^いなりました。継続登校に何度もくじけそうになつた時、支えて下さつたか^い、訪問カウンセラーの先生方です。復学前から不安な子の気持ちをやわらけ、復学当日、そしてこの後も子にお力添え、共感して励まして下さいました。子か^いだけでなく、親の私にも力を与えて下さいました。

支援していただいたこの2年間は、我が家にとっては
かけがえのない時間でした。

支援を卒業したからといっても、家庭教育に
終わりはありません。

これからも、子供の力を信じて、そしてお世話に
なった先生方への感謝の気持ちを忘れずに、
一日一日を大切に過ごしていこうと思います。

APレインキャンプの先生方、皆様の
ますますのご活躍、ご発展をいよいよお祈り申し上げます。